教師用発問サポート資料

1　使用するプリント　コク×スク　レベル 3-2　情報の信頼性の確かめ方を理解する

2　単元の目標

(1) 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。　〔知識及び技能〕(2)イ

(2) 目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，集めた材料の客観性や信頼性を確認し，伝えたいことを明確にすることができる。　〔思考力，判断力，表現力等〕B 書くこと(1)ア

表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。　〔思考力，判断力，表現力等〕B 書くこと(1)ウ

3　学習の流れ

【①導入】身のまわりには数多くの情報があることを確認した上で、情報の信頼性の確かめ方について理解を深め、情報を活用して文章を書くための力を身につけることを共有する。

私たちの身のまわりには、多種多様な情報が溢れていますね。今回は、SDGs について生徒が下書きした文章、それを書いた生徒と読んだ生徒たちの会話の内容を読んで、情報の信頼性の確かめ方について理解を深め、客観性や信頼性の高い適切な情報を書く材料として用いる力を身につけていきましょう。

【②展開】個人で問題を解く（15 分程度）。その後、全員で答え合わせを行う。

★15 分ほどが経過し、生徒が記入している様子を確認したら、グループ内で解答状況を確認し合う。

★解答できない生徒に対しては、机間指導時に適宜助言を行う。

〈問１　助言の参考〉

「目次」を読んだときに予想される、本の内容はどのようなものですか。

ウの章では、SDGs の目標ごとに行われている、達成に向けた具体的な取り組みの内容が紹介されていると思います。

エの章では、私たちにもすぐにできる取り組み事例が紹介されていると思います。

そうですね。文章を書くために必要な情報を得るという目的を持って本を読む時には、欲しい情報が得られそうな部分に見当をつけて読むということも大切ですね。

〈問２　助言の参考〉

奥付とは、本のどこにあるのか、どのようなことが書かれているのか、わかりますか。また、情報の信頼性を確かめるためには、どのようなことに留意するとよいでしょうか。

奥付は本の一番後ろにあることが多いです。奥付を見て、書名、著者名、発行年、出版社等を確認すると、情報の新しさなどを知ることができて、信頼性を確かめることができると思います。

同じ事柄に対しても複数の本文情報にあたり、それらを比べたり、情報の根拠を把握したりすることが、情報の信頼性を確かめるために必要だと思います。

教師用発問サポート資料

〈問３　助言の参考〉

A にはどのような言葉を補うことが適切でしょうか。第二段落の書き方を参考にみてみましょう。「取り組む対象は私たちを含むすべての人となっていて」の部分に、SDGs が「これまでよりも一歩進んだもの」である理由が書かれていますね。この書き方にならって、A には、「課題が理解しやすい」理由を書くとよいですよ。

【③まとめ】今日学習した内容を振り返る。

今日の学習では、情報の信頼性の確かめ方について学んできました。この力は、どのような場面で発揮されそうでしょうか。

文章を書くために、素早く必要な情報を得たいときに発揮されると思います。

確かな情報を根拠として自分の考えを持ち、文章で表現するときに発揮されそうです。

そうですね。文章を書くために必要で、確かな情報を素早く見つけて根拠とし、自分が考えていることを表現するときに発揮されそうですね。
信頼性が低い情報は、内容そのものが誤りであったり、極端な結論になっていたりする場合が多くあります。そのため、信頼性が低い情報を基にした意見や持論も誤りとなる可能性が高くなってしまうことにも注意しましょう。

４　指導のポイント

○**【①導入】**では、私たちの身のまわりには多種多様な情報が溢れており、信頼性の高い情報も低い情報も、どちらも多数存在しているため、情報の信頼性の確かめ方を理解する必要があるという動機付けができるようにする。

○**【②展開】**では、生徒が個人で活動をしている時に机間指導を行い、特に「努力を要する（C）」と評価する生徒への個別の支援を行う。

○**【③まとめ】**では、学習内容が社会生活の中で、生きて働く知識及び技能であることを伝え、今後の学習や経験の中で発揮しながら、質的な充実を図ることが大切であることを伝える。

５　ほかに考えられる使用方法

○「コク×スク　レベル 3-2」を単元テストとして使用し、定着度を測るために使用することもできる。その際は、自分の考えを表現する活動を通して、「B　書くこと(1)ア・ウ」について取り扱う学習を行っておくことが大切である。このような学習活動により育成した資質・能力が、身に付いているかをコク×スクを把握して見取れば、その後の個別の指導や支援に生かすことができる。また、授業展開例としては次のものが考えられる。

関心のある事柄について、その特性や価値などについて根拠を持って論じたり評価したりする文章を書く

……新聞やニュースなどから、自分の関心のある事柄を取り上げ、その事柄の特性や価値などについて、情報収集をして根拠とし、自分の評価と結び付けて論じたり評価したりする文章を書く。